

## 記者発表資料

### 侵食対策による効果・影響の年次評価等について検討を行います

～第17回宮崎海岸侵食対策検討委員会を開催します～

宮崎海岸の侵食対策については、宮崎海岸侵食対策検討委員会、同技術分科会、同効果検証分科会、宮崎市民談義所等における、専門家、市民等の意見を踏まえ対策を進めています(別紙①参照)。

第17回宮崎海岸侵食対策検討委員会では、第7回効果検証分科会(9月14日(金)開催)にて検証を行った「侵食対策による効果・影響の年次評価(案)」や「平成30年度後期以降の調査実施計画(案)」等について検討を行います。

#### 【第17回 宮崎海岸侵食対策検討委員会】

- 日時：平成30年10月18日(木) 13:30～15:30
- 場所：宮崎県医師会館 2階研修室 [宮崎市和知川原1丁目101] (別紙②参照)
- 内容：侵食対策による効果・影響の年次評価(案)と今後の調査計画等

#### ○会議の公開について

一般の方に公開します。  
会場の都合上、先着30名程度の入場とさせていただきます。  
駐車場に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

#### 【参考①】

過去の宮崎海岸侵食対策検討委員会、技術分科会、効果検証分科会の資料等は、下記宮崎河川国道事務所のホームページをご確認ください。

- ・宮崎海岸侵食対策検討委員会：<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/sskondan/documents/shinsyoku/index.html>
- ・技術分科会：<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/sskondan/documents/gijyutsu/index.html>
- ・効果検証分科会：<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/sskondan/documents/koukakensyou/index.html>

#### 【参考②】

「宮崎海岸の侵食対策」とは？

3つの柱からなるプロジェクトです。これまでに失われた宮崎海岸(宮崎港北端～一ツ瀬川河口間)の砂浜を回復・維持するために、①養浜等を実施し、②突堤を整備します。また、砂丘が海岸に面しているため急激な侵食の危険性がある区域(大炊田海岸の一部、住吉海岸の一部)においては、浜崖頂部高の低下を防ぐために、③埋設護岸を整備します。

#### 報道機関の皆様へ

- 議事途中での撮影は、議事進行の妨げにならないようお願いします。
- 議事途中での質問等をご遠慮ください。なお、会議終了後に取材対応の時間を設けますので、質問等はその際をお願いします。

#### 発表記者クラブ

宮崎県政記者クラブ、宮崎市政記者クラブ

#### 問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所

TEL: 0985-24-8221 (代表)

○副所長(河川担当) 岩崎 征弘

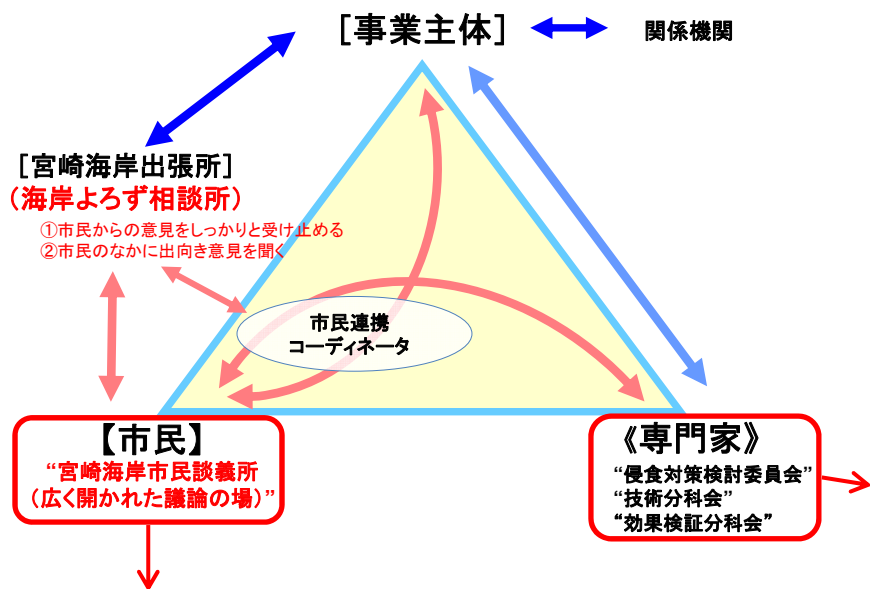
○海岸課長 東 和彦

ホームページ：<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/>

# 宮崎海岸の検討体制

～委員会、技術分科会、効果検証分科会、市民談義所～

今回開催



## 宮崎海岸侵食対策検討委員会

- ・今後は、侵食対策の計画段階から、侵食対策の実行・確認(必要に応じて修正)段階へと移行するため、委員会の設置目的を追加・変更して、現委員会を基本としてつつ発展させた委員会を継続する。
- ・毎年1回以上開催し、調査結果等から、侵食対策の効果・影響を確認し、侵食対策の継続または修正の必要性等について協議する。

## 宮崎海岸市民談義所

- ・今後も「広く開かれた議論の場」として継続する。
- ・さらに、興味・関心のある多くの市民が参加できる機会を作っていく。
- ・市民と連携した調査も模索していく。
- ・調査結果の報告、侵食対策実施状況、それらの修正・改善等について談義していく。

## 技術分科会

- ・委員会の付託により、技術的な検討が必要になった場合に適宜開催し、検討する。

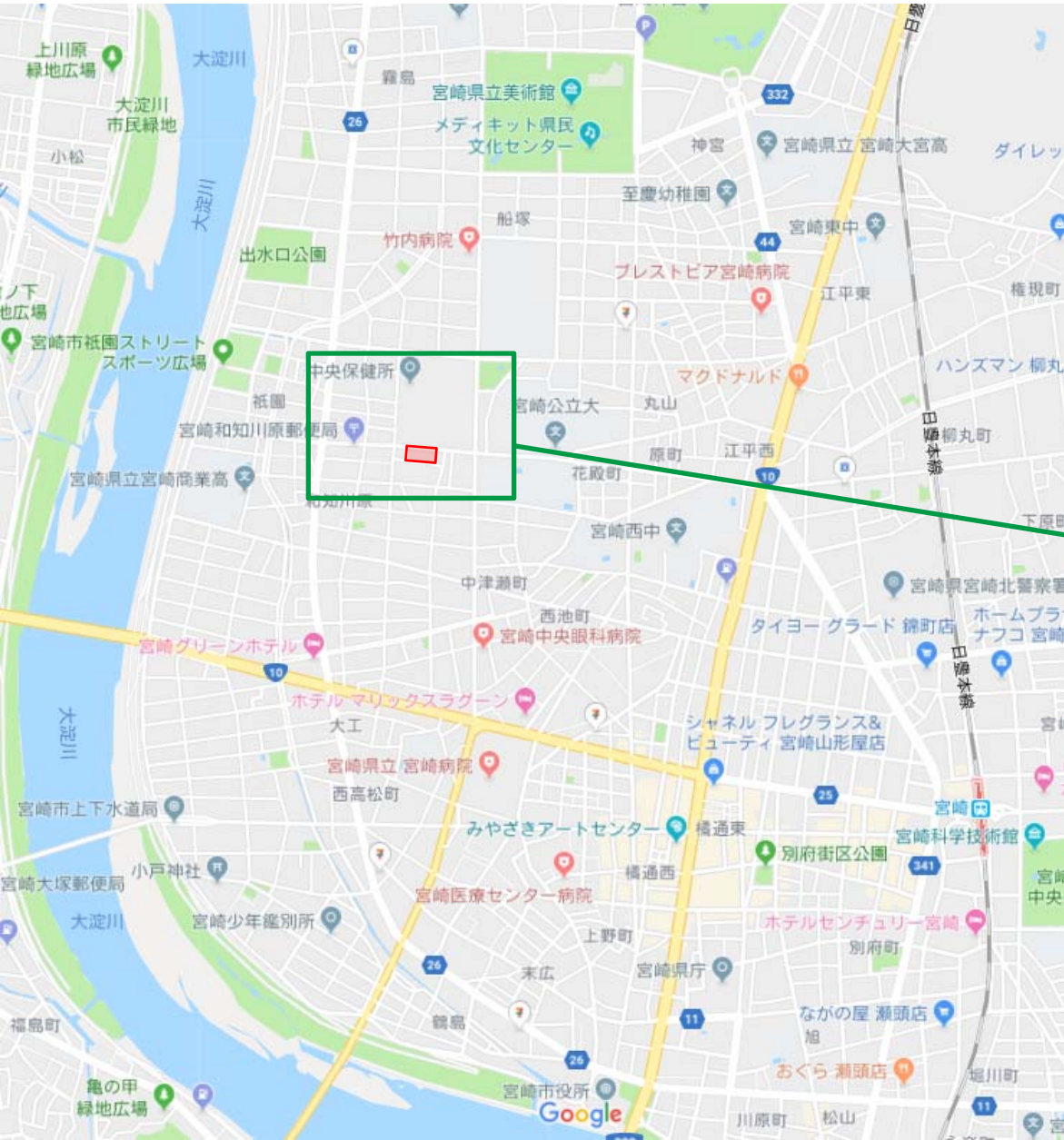
## 効果検証分科会

- ・委員会の付託により、侵食対策の効果検証について、毎年1回以上開催し、検討する。

○第17回宮崎海岸侵食対策検討委員会

日時：平成30年10月18日（木）  
13:30～15:30

場所：宮崎県医師会館 2階研修室  
宮崎市和知川原1丁目101



会場駐車場に限りがあるため、できるかぎり公共交通機関のご利用をお願いします。  
(花殿町バス停から、約200m      和知川原バス停から、約330m)